



九州自然歩道の旅③

前回(9月12日付)は、全長約3千きの「九州自然歩道」の福智山から平尾台まで紹介しました。今回は福岡県みやこ町へと歩を進めます。

平尾台から同県行橋市へ向かう途中、千仏鍾乳洞(北九州市小倉南区)を通ります。もちろん中を抜けるのではなく、入り口の売店を通り過ぎるのですが、ここで少し休憩。名物「カルスト饅頭」を食べながら行橋へ続く道を探しました。

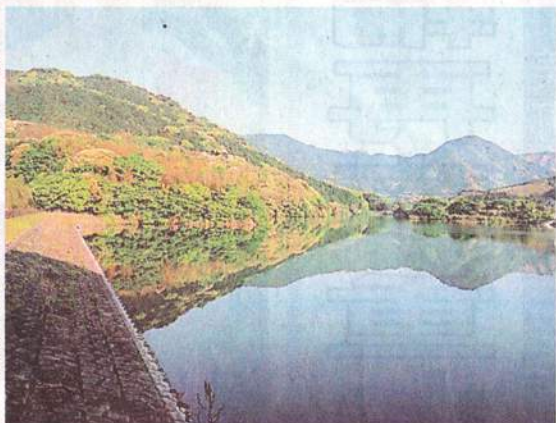
しかし、看板などは見当たらず、お店の人に聞いてみると「それならあの奥を通って行けるよ!」と分かりやすく教えてくれました。皿倉山から歩いていることを伝えると大変驚いた表情をされて、激励の言葉を頂きました。

お別れをして再び歩き始めると、後ろから呼び声が聞こえます。振り返ると、千仏鍾乳洞の方が追いかけてきました。「頑張ってください!」とおにぎりを渡された時はとても感動しました。歩いていながらこそ、何物にも替える難い出会いがあると思えます。

自分もまたその一部であることを感じます。人と自然、人と人の共存によって自然が成り立っている。そんな感じがします。

千仏鍾乳洞から行橋市に抜けるには、沢沿いの遊歩道を歩きます。遊歩道として整備されているので歩きやすく、しかも緑豊かな道です。周りには人工物が少なく、自然の中を歩くと、自然歩道は池の南側を通っていますが、この道がまた険しいところ。一人一人通れるくらいの道で、壊れかけた木の足場があり、踏み外したら池に落ちかねない道です。池の北側に舗装路がありますので、安全に歩きたい方は、そちらをお勧めします。

人のぬくもりと絶景



険しい道を乗り越えた後の御清水池

険しい道を歩き終えて反対側に出ると、険しさを忘れるくらいの雄大な森と山と池の風景を見ることができま。風光明媚な場所には険しさもある。といったことを体で感じた瞬間です。御清水池を抜け、舗装路へ出るとみやこ町です。今回は約10き、約4時間で、人のぬくもり、自然との触れ合いについて感じた歩き旅でした。

来月は、仲哀峠(みやこ町)を越え、呉ダム(同県香春町)へと向かいます。(九州自然歩道フォーラム

会員 福岡市)

平尾台-みやこ町